

平成 21 年 9 月 30 日

各 位

株式会社 I S ホールディングス  
 代表取締役社長 遠藤 昭二  
 問合せ先：総務部 03 ( 6812 ) 2200

### アイアンドエーエスとみずほ銀行とのシンジケートローン締結に関するお知らせ

当社子会社である、株式会社アイアンドエーエスは、本日付で株式会社みずほ銀行をアレンジャー兼エージェントとするシンジケートローン契約を締結致しましたので下記の通りお知らせ致します。

#### 記

#### 1. シンジケートローンの概要

設備資金を使用用途とする、シンジケーション方式タームローンの契約になります。

#### 2. シンジケートローン導入の目的

今回のシンジケートローンの導入は、設備資金を長期の安定した資金とすることで財務の健全性を確保するとともに、財務関連コストの削減と事務の効率化を目的としております。

以上

日刊工業新聞 2009 年 9 月 30 日掲載記事より

日 刊 工 業 新 聞		Business & Technology	
<p>みずほ銀行は主幹事として、外国為替証拠金 (FX) 取引を手がける外為オンライン (東京都千代田区) の兄弟会社アイアンドエーエス (同) に対し、シンジケート・ローン (協調融資) をまとめた。30日に契約する。融資額は明らかにしていないが、10億円規模とみられる。FX関連企業に大手銀行団が設備資金としてシンジケート・ローンを組成するのは初めて。</p> <p>みずほ銀行とりそな銀行が行う。コミットメント契約付きで融資枠の範囲内でアイアンドエーエスの請求に基づき、融資</p>		<h2 style="writing-mode: vertical-rl;">FX関連企業に協調融資</h2> <h3 style="writing-mode: vertical-rl;">みずほ銀 システム拡充の費用</h3> <p>あるISホールディングス (東京都千代田区) の子会社で、アイアンドエーエスはグループの金融システムの開発を担当するアプリケーションサー</p>	
		<p>する。調達した資金はシステムの拡充に伴う費用に充てる。</p> <p>FX取引高で業界首位の外為オンラインはグループの中核持ち株式会社であるISホールディングス (東京都千代田区) の子会社で、アイアンドエーエスはグループの金融システムの開発を担当するアプリケーションサー</p> <p>ビスプロバイダー (ASP)。</p> <p>ISホールディングスには傘下に証券会社もあり、ITを基盤にした金融事業のビジネスモデルが銀行団に評価されて、FX関連企業としては初の設備資金のシンジケート・ローンが組成されることになった。</p>	